

町田地区保護司会だより

第122号

発行 町田地区保護司会
会長 木目田賢市
編集 広報部
TEL 042(794)6791



東京都指定史跡 小山田1号遺跡

所在地 町田市小山田二丁目 16-32
指定 1985年(昭和60年)3月18日

小山田遺跡群は、小山田坂台地造成に先がけて1970～1972年、1978～1982年に発掘調査が行われました。遺跡群のうち小山田1号遺跡は最も北側に面した南向き斜面地に位置しており、平安時代末期から室町時代にかけての有力武士の館跡と考えられています。12世紀後半に1～3号地下式竈穴が構築された後、斜面を3mほど掘進し、東西約60m、南北約15m、面積約800㎡の平坦地がつくられ、15世紀中頃に至るまで竈立柱建物群、大形竈穴状遺構、横柱列(区画用の壁)などが構築されたとわかりました。竈立柱建物群のうち3号竈立柱建物群からは97枚の銭貨がヒモで束ねられた状態(さし銭状)で出土しました。また、天目茶碗が出土した大形竈穴状遺構(12×6m、深さ1m)と横柱列を併し南北の二面に並ぶ5号竈立柱建物群は、15世紀中頃に構築されたと推定されています。

古代から中世にかけて、谷が溝に入り込んだ地形を利用し多摩丘陵の各地には堀坂(堀の側面施設)が築かれ、武士団が台頭する一因となりました。小山田遺跡群の中に「平塚」、「牧場」という地名が残る。平安時代末期に親父平氏小山田有重が高牧堀坂と堀坂によって開発された小山田荘の中心地にあたります。小山田1号遺跡の墓とされる南方向100mのNo2遺跡からも13～15世紀の地下式竈穴、竈、板碑が発見されました。1号遺跡も含め小山田遺跡群内の中世遺構が成立する過程には小山田氏との関連が考えられます。

現在、本遺跡はガラス繊維と樹脂セメントで遺構面を覆う遺形保存がなされており、多摩丘陵における中世武士の館の築造過程が再現されています。

2023年1月設置 町田市教育委員会

小山田1号遺跡(都指定史跡)



会長就任挨拶

町田地区保護司会会長 木目田 賢市

本年4月の定期総会におきまして、中里真二前会長の後任として選任されました木目田です。永年にわたる歴代諸先輩の活動を顧みますと、改めて責任の重さに身の引き締まる思いです。

さて、最近の犯罪認知件数は減少傾向にありますが、再犯者率は増加してきています。このような中、国や地方公共団体により「再犯防止推進計画」が策定され、罪や非行をした人たちを社会から排除し孤立させるのではなく、社会の一員として円滑な社会復帰を促進し、再犯を防止することに重点が置かれるようになってきました。そのため、罪や非行をした人たちの立ち直りを支える保護司の役割は、ますます大きく重要なものとなってきています。

その反面、全国的に保護司の高齢化と担い

手不足の問題があり、年々保護司の数が減少傾向にあります。新任保護司の発掘では、まだまだ現役で働いている方も多く、なり手が少ないのが現状です。最近では就任年齢制限の緩和や、特例再任による任期延長の制度がありますが、若い世代の発掘といった根本的な問題解決には至っておりません。

町田地区保護司会といたしましても、次世代を担う新任保護司の発掘に努めるとともに、魅力ある保護司会活動のために、行政機関や警察署、更生保護関連の各団体との情報交換や交流を深め、安全で安心できる地域社会を築くために取り組んでまいりたいと思います。

皆様には、更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度町田地区保護司会定期総会

総務部長 小山 洋子

令和7年4月25日、町田市民ホールにて「令和7年度定期総会」が開催されました。

開会に先立ち総会定数の報告が行われ、出席者56名委任状20名のもと、司会の木目田副会長の開会宣言で始まりました。

中里会長から、4年間の感謝の気持ちとともに、今年度から更生保護サポートセンターが下小山田に移転したこと、また観察所からサテライト型サポートセンターの設置が内定したことの報告がありました。更に有職者の保護司も多くなり、保護司会活動の補い合い・思いやりの心が次世代育成に繋がり、いろいろな課題を充実発展していくためにも次世代育成を念頭に置き、皆様と共に活動を進めていきたいと挨拶がありました。

総会議事進行にあたり、南分区友井徹氏が議長に選出され、すべての議案が賛成多数で可決されました。来賓挨拶は、東京保護観察所立川支部長 吉原直深様、町田市教育長 小池慎一郎様、町田市議会議員 木目田英男様、町田市警察署生活安全課長 關隆行様よりお言葉をいただきました。木目田新会長より新役員の紹介が行われ総会は閉会となりました。

懇親会では鳥海理瑛子主任保護観察官、齋藤潤二保護観察官から挨拶をいただき、和やかな雰囲気の中閉会されました。



新会長挨拶



総会風景



退任挨拶

令和7年度町田地区更生保護事業協力事業主会総会

町田地区更生保護事業協力事業主会 事務局 小林 克之

5月16日午後6時より町田市民ホール会議室において、協力事業主18社（委任状も含む）の出席のもとで、令和7年度町田地区更生保護事業協力事業主会総会が開催されました。総会では、第一号議案から第六号議案まで、すべてが承認されて、無事に終了いたしました。尚、今回の役員改選にて、細野会長が相談役に、田形副会長が新会長となり、新体制と成りました。また、来賓として、東京保護観察所立川支部、町田市役所、町田公共職業安定所、東京都就労支援事業者機構、更生保護法人鶴舞会、町田地区保護司会が列席され、ご祝辞をいただきました。

総会後には懇親会が開催され、町田市長を交えて和やかな懇談の中で会員相互の交流が深められました。

今後もさらに、各会員の意識向上を図り、また、他の地区更生保護協力事業主会とも積極的に交流を深めて参ります。



総会風景



新会長挨拶

立川支部着任のご挨拶



町田の魅力

東京保護観察所立川支部長
吉原 直深

自宅が神奈川県の大磯町、実家が東京都の調布市という私にとって、その中間にある町田市はとても親しみを感じる土地です。20代の頃から、町田駅周辺のスイーツ店には度々立ち寄り、疲れた心身を癒やした懐かしい思い出もあります。町田は、神奈川県町田市で郵便物が届くなどというエピソードを聞いたことがありますが、いやいやれっきとした素晴らしい東京都町田市です。

町田は、都会の利便性と田舎の自然豊かな穏やかな雰囲気と併せ持つ点が魅力の一つではないでしょうか。これは、保護司の皆さまと接した時にも感じる事です。皆さまは個々の高い能力を発揮しながら、保護司会の運営や地域活動のほか、保護観察対象者等の処遇活動にご尽力くださっています。また、気さくで温かみのある方が多く、話をしていると私も前向きな気持ちになります。

今後も、町田の保護司の皆さまと明るく楽しいひとときを過ごすことを心待ちにしております



町田地区着任のご挨拶

東京保護観察所立川支部
保護観察官
齋藤 潤二

町田地区保護司会の皆様には、平素より更生保護事業に多大なご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。犯罪や非行を犯した人たちの立ち直りのために、日夜尽力されている皆様のご努力とご苦労に対し、心から敬意と謝意を表します。対象者の社会復帰支援を一層円滑に進めるため、地域関係機関、団体等の協力を得て、支援に関わる情報を共有し、一人ひとりに応じた具体的な支援の実現に向けた連携・協議を行う更生保護ネットワーク事業の実施に向け、関係者と議論を重ね、進めていきたいと考えています。

何かと不行き届きもあろうかと存じますが、皆様としっかり協同しながら取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

鶴舞会施設長交代のご挨拶



就任のご挨拶

更生保護法人鶴舞会 施設長
小林 聡

この度、更生保護施設鶴舞会の施設長に就任した小林聡と申します。当会が、この地で、飛鳥病院とともに更生保護事業を継続できたのは、町田地区保護司会の皆様のご指導・ご支援があったからこそと側聞しております。知識や経験は不足しておりますが、皆様と諸先輩方が発展させてきたこの事業を引き継ぐ以上、誠心誠意職務に精励する所存でございますので、これまでどおりのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



保護司退任挨拶

更生保護法人鶴舞会 前施設長
根本 英男

本年8月31日保護司を退任しました。平成21年5月に町田地区保護司会に配属されて16年間、会員の皆様に親しくご指導をいただきましたことを感謝申し上げます。この間、企画調整保護司として「ひまわり相談」等サポートセンターの貴重な業務に参加させていただき、多くのことを学ぶことができました。

今後、一層保護司会活動に多くの期待が寄せられると思われまふ。町田地区保護司会の更なる発展と会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

受賞のご挨拶



瑞宝双光章を受章して

南分区 宮本 幹雄

令和7年春の叙勲において、はからずも瑞宝双光章を受章致しました。5月20日皇居において、天皇陛下の拝謁を賜りましたことは有り難く、心にとどめておきたいと思っております。平成12年2月に保護司を拝命し、皆様のご指導をいただき過ごすことができましたことに感謝申し上げます。

これからもこの章に恥じる事のない様、更生保護に尽くす所存ですので宜しくお願い致します。



藍綬褒章をいただいて思うこと

忠生分区 鈴木 幸夫

この度、「藍綬褒章」という身に余る章を頂き、驚きとともに、これまで関わってくださった多くの方々の顔が浮かびました。

保護司としての活動は、目立たないながらも、一人ひとりの立ち直りを信じて寄り添い続ける仕事です。時には悩むこともありましたが、そんな時に支えとなったのは、地域の皆さまや保護司仲間、そして家族の存在でした。今回の受章は、私個人の力によるものではなく、周囲の支えと理解があつてこそだと、改めて感じています。

今後も、これまでと変わらず、一人ひとりに寄り添う姿勢を大切にしながら、更生保護活動に取り組んで参ります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

第75回社会を明るくする運動 広報活動

地域活動部長 名取 紀美江

6月21日薬師池公園四季彩の杜にて「社会を明るくする運動」の広報活動を行いました。

当初、「社会を明るくする運動」の強化月間である7月に同園で開催される「ファーマーズマーケット」に合わせて実施する予定でした。ところが、近年の夏の異常な暑さを考慮し7・8月の「ファーマーズマーケット」開催が中止となったため、6月の開催に合わせてこの日に変更し、準備を進めてきました。

当日は、晴天。活動場所は芝生広場。集合時間9時、汗びっしょりとなりながらのテント張り、10時から500組の広報資料の配布開始です。黄色いベストを着て「社明の広報活動です」と声をかける私たちを見て少し戸惑いながら広報資料を受け取る来場者もありました。なかなか進まない広報資料の配布に不安でしたが、午後になると来場者が多くなり、14時半には無事終了となりました。

参加保護司50名、福祉総務課、更生保護女性会の皆さん、暑い中お疲れさまでした。また鳥海主任保護観察官、齋藤保護観察官、桐友会の方も暑い中お越しいただきありがとうございました。



6/21当日の様子



広報活動資料の準備



「国際更生保護ボランティアの日」について

忠生分区 鈴木 幸夫

令和6年4月17日オランダ・バークにて開催された第2回世界保護司会議において、4月17日を「国際更生保護ボランティアの日」とする宣言が採択され、保護司をはじめとする更生保護ボランティアの国際的な認知度向上に各国が協力して取り組むこととされました。

これを受けて、令和7年4月17日に第1回の記念式典が、小池東京都知事および住吉新宿区長をはじめ、関係機関、団体の代表者を来賓に迎え、東京都庁都民広場において開催されました。その後、更生保護ボランティアが黄色いスカーフを振って、警視庁音楽隊、カラーガードとともに総勢450人が参加し、新宿副都心4号線（中央通り）をパレードし、初の記念日を盛り上げました。

町田地区保護司会からは、中里会長をはじめ10名が式典およびパレードに参加いたしました。また、当日夜には、更生保護のイメージカラーであるイエローの特別ライティングが、法務省赤レンガ棟、スカイツリー、に加え町田市庁舎でもライトアップされました。

第75回社会を明るくする運動 町田大会

地域活動部 高梨 栄史郎

令和7年7月29日、町田市民ホールにおいて「第75回社会を明るくする運動 町田大会」が開催され、多数の皆様にご参加いただき、お陰様で盛会のうちに無事終了いたしました。本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係機関・団体の皆様、ならびに運営に携わっていただいた関係各位に、心より厚く御礼申し上げます。

当日は、吉原直深東京保護観察所立川支部長による講演や、中学生による作文朗読を通じて、「立ち直りを支える社会の大切さ」に触れる貴重な機会となりました。犯罪や非行からの更生というテーマは、年齢や立場にかかわらず、地域社会を共につくるすべての方々に関わるものです。大会を通じて、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向け、「自分にできることから始めよう」という意識が広がったものと感じております。

引き続き、多くの関係機関とさらに連携しながら、「社会を明るくする運動」を一層推進し、立ち直りを支え合える地域づくりの輪が、着実に広がっていくことを願っております。

サラちゃん&ホゴちゃん



町田市立つくし野中学校 吹奏楽部の演奏



大会宣言



第1回記念式典



市庁舎ライトアップ

分区分長を仰せつかりました

堺分区分長 横溝 一枝



横浜線春の相原駅に向かって

今年度4月より堺分区分長となり、まだまだ未熟ですが分区分員と共に協力をして地区の活動を盛り上げていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

堺分区分は、5年ぶりに新任保護司が仲間入りし、新鮮な雰囲気での活動に取り組んでいきたいと思います。

私ごとではございますが、保護観察対象者との面接はとても楽しみな所があります。当初、何を言っても何度言っても分からない対象者に事あるごとに言い続け、相手の気持ちが理解出来る様になった時には、私の心も温かくなります。

処遇活動、地域活動が円滑に出来る様、今後ともお力添えをお願い致します。

LINEとZOOMの活用

忠生分区分 藤野 慶正

日本では現在、LINEの利用者が1億人近くにのぼり、老若男女を問わず社会インフラの一部として広く定着しています。忠生分区分でも、分区分員と分区分役員のLINEグループを作り、迅速な連絡手段として活用しています。また、コロナ禍の際に一時的に導入したZOOMによるリモート会議を、今期より役員を対象に再開しました。主に夜間に開催し、日中に行われた役員会の復習や、追加の議論の場として位置づけています。今回リモート会議を実施するにあたり、事前にテスト会議を行ったこともあり、実際のリモート役員会は概ね円滑に進行し、有意義な会議となりました。

ZOOMは無料プランで利用する場合、会議時間に40分の制限があります。長時間のリモート会議が負担になりがちなことも考慮すると、この制限を逆手に取って、要点を絞り時間内に効率よく終わらせる意識を持つことで、より有意義で継続しやすい会議になるのではと考えています。今後もLINEやZOOMを有効活用していきたいと思っています。



リモート会議

鶴川分区分定期総会・懇親会

鶴川分区分 大野 操



分区分総会後の交流

5月30日午後6時より、令和7年度定期総会を開催しました。分区分会員12名と町田地区保護司会より木目田賢市会長をお迎えし、和やかな雰囲気の中で行われました。今年度は役員改正の年にあたり、中溝孝夫前分区分長から榎本茂生新分区分長へと引継ぎがなされ、新たな運営体制が整いました。総会後の懇親会には桐友会から石川洋一郎会長を含む4名のご出席を賜り、退任された小宮長治氏の送別の場も兼ねて和やかな交流が深まり、参加者からは小宮氏の長年のご尽力に感謝が述べられました。

今後も分区分の結束を大切に、毎年の鶴川地区地域懇談会・講演会の開催等、引き続き活動が展開され地域との連携を深めていくことを確認し、盛会の内に閉会となりました。

ひなた村で広報活動

町田分区長 手塚 圭子

6月1日(日)、町田市子ども創造キャンパスひなた村主宰「春のひなた村まつり」に参加しました。町田分区から8名の有志が参加しました。社明の広報活動として、風船と更生保護に関するパンフレットを配布しました。子どもたちが無料で参加できる工作やゲームコーナー、野外ステージの演奏など、親子で一日楽しめる企画が多く大盛況でした。天気にも恵まれ、200個用意した風船はあっという間に無くなり、風船を手にした子どもたちの笑顔に癒された一日でした。



春のひなた村まつりにて

市原青年矯正センター訪問と 恩田川さくらまつりでの広報活動

南分区長 木村 恵里子



市原青年矯正センター



大好評の模擬店

令和7年2月6日に南分区管外自主研修として市原青年矯正センター(千葉県市原市)を訪問しました。知的障害等を有する26歳未満の男性70人を収容できます。旧少年院が矯正センターとなって、職員も刑務官から法務教官となり、ビル清掃の国家資格試験が当センター内で受けられる等、丁寧な社会復帰支援が図られていました。

3月29・30日には恩田川さくらまつりに出店しました。29日はあいにくの小雨でしたが30日は好天気にも恵まれ、桜も程よく咲いて大盛況。分区員一丸となってポップコーン、綿菓子を製造販売し、成果の一部を鶴舞会に寄付出来ました。

「大本山高尾山薬王院社会貢献活動」について

鶴舞会補導主任 千田 章一

平成28年から実施してきた社会貢献活動を、6月22日(日)に町田地区保護司会会員からもご参加いただき実施しました。

大本山高尾山薬王院のご協力をいただき、11時から本堂内で「お護摩焚き」が行われ、その後に参道の石積壁の草むしりでしたが、総勢19名で行ったところ、所要時間40分で80メートルほど掃除ができました。その間参拝者から「ご苦労様」や「お疲れ様」などと声を掛けていただき、猛暑の中木陰の涼しい風と共に活動の有意義さを感じました。

その後、昼食には、とろろ芋、野菜天ぷら、煮物、おひたし、椎茸のお吸い物など精進料理をいただきました。

昼食後の法話の中で、仏教の教えである四苦八苦についての、「生、老、病、死」に触れ、僧侶自身昨年12月に大病で娘さんを亡くされた目に涙をため、声を振り絞り途切れ途切れにお話されておりました。

僧侶のお話に感銘を受けたのか、寮生の感想文の中に、「行き場がなく途方にくれていた時に、保護観察所や鶴舞会の先生方に助けていただき心から感謝している。困った時は助けを求めたりするが、これからは少しでも世の中のためになるような生き方を心掛けていきたい。」と記されていました。

社会性を身に付け、感謝の気持ちを忘れずに1日も早く、たくさんの人が社会に巣立っていくことを念じております。



高尾山薬王院にて



社会貢献活動中

協力事業主さん紹介



有限会社 ビケリフォーム

代表取締役 児島 貴様



今回、協力事業主として協力いただいている児島社長にお話を伺ってまいりました。児島社長はとっても気さくで、お若い頃からのエピソードを交えながら、楽しくお話をいただきました。

一 会社の事業内容についてお聞かせください。

戸建てのリフォームでの足場設置を専門としています。7割がハウスメーカーからの依頼で、社員は35人おります。10班を編成しそれぞれが10箇所の現場でリーダーを中心に責任をもって作業を進め、グループラインを利用してリアルタイムで作業状況等を共有しています。作業現場は東京・神奈川のほか埼玉にも足を延ばしています。依頼されて、内装リフォームやハウスクリーニングを行うこともあります。基本的には戸建てリフォームの足場を専門としています。

一 会社の特色やアピールポイントがありますか。

建設業では珍しいと思いますが、『制服』を着用しています。安全教育・安全対策を徹底しており、道具の使い方にも細心の注意を払っています。給与に加え、賞与ではなく手当(歩合制)という形で数々の報酬が得られる仕組みになっています。勤務時間も厳守し、週4日勤務にも対応しています。

一 未経験者でもできるお仕事ですか。

初めは助手として、リーダーが作業手順や道具の使い方を徹底して教育していきます。現在も外国人従業員がいますが、安全教育を中心に指導を受けて立派に従事しています。

一 なぜ、協力事業主として引き受けられたのですか。

何より、町田地区の保護司の方から強力に声をかけられたからです。更生保護という考えにも賛同しており、現在も対象者を引き受けています。また、折しも人材確保が厳しい昨今、若い世代への貢献や支援に役立つことが出来ればと思っています。

インタビューは当初の予定をはるかに超え、あっという間に時間が過ぎてしまいました。「現場や緊急時には、これが機能する。」とガラケーを見せていただいたり、外国人従業員の国際事情や業界の受注状況の裏話など、とても楽しいひと時でした。ありがとうございました。



(広報部 佐川 雅夫)

新任保護司ご挨拶



堺分区

一村 弘幸

5月15日付けで保護司の辞令を拝命し、その重責に思いを新たにいたしました。

対象者の改善更生を助け、地域の安寧秩序のためにその使命を果たしてまいります。

ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



鶴舞会

内田 克巳

令和7年4月1日から鶴舞会で勤務をしております内田克巳と申します。町田地区の保護司として、皆様とともに活動できることを嬉しく思っております。新たな気持ちで取り組んで参ります。よろしくお願い申し上げます。

退任保護司ご挨拶

鶴川分区

小宮 長治

平成13年に委嘱を受け、24年間保護司活動が続けてきました。町田地区保護司会、特に鶴川分区の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

転出保護司

鶴舞会

金子 千春

本年3月31日付で鶴舞会を転出されました。保護司会活動にご協力いただきありがとうございました。(町田地区保護司会一同)

訃報

忠生分区 飯田 仁 様

令和7年8月6日 (享年71歳)

ご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

本目田新会長のご挨拶にある「立ち直り支援の重み」を胸に、新体制の広報部も一歩を踏み出しました。廣田(堺)、藤野(忠生)、佐川(鶴川)、市村(町田)、村田(南)の5名で力を合わせ、地域と保護司をつなぐ情報発信に努めます。どうぞよろしくお願いいたします。

(広報部長 市村 善明)